

## まちづくり対策特別委員会

(8/11、9/22)

本委員会では、本市のこれまでの土地利用、税収や財政、企業誘致の状況等を振り返るとともに、今後の企業誘致と産業振興に関する方向性について当局から報告を受けました。

また、市内外の工業団地や開発予定地の現状を把握するため、9月22日に現地を視察しました。

<視察箇所>

- ・袋井市 宇刈地区、西山地区、豊沢地区、小笠山麓開発
- ・掛川市 上西郷地区
- ・磐田市 下野辺工業団地 ほか



下野辺工業団地における現場説明

## 防災対策特別委員会

(8/27)

本委員会では、当局から袋井市静岡モデルの整備計画(案)について協議事項が提出されました。委員より「整備計画の財政見通しは立っているか」との質問があり、これに対して「財源については市の費用で実施することが基本である。この3カ年で精査し、一番効率的で効果的な方法を検討していきたい」との答弁がありました。また、5件の報告を受けました。

<報告事項>

- 1 (仮称)袋井ふるさと防災寄附金について
- 2 津波一時避難場所(命山)の整備状況について
- 3 浜岡原子力発電所の原子力災害対策重点区域の避難シミュレーションについて
- 4 袋井市業務継続計画(BCP)[地震対策編]の策定方針について
- 5 南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づく「推進計画」及び「津波避難対策緊急事業計画」の策定について

## 建設経済委員会

### ●平成25年度一般会計歳入歳出決算認定 ～防災費～

**Q** 近頃では、豪雨で市街地も水害に見舞われている。災害危険度判定調査は平成26年度まで実施するとのことだが、市街地危険度マップなどを作る予定はあるか。

**A** 調査は26年度で完了し、その結果を公表する予定である。27年度は、都市防災基本計画を策定したい。津波等の災害には力を入れて対応しているが、都市防災にはなかなか着手できていない。道筋が立てられるよう基本計画を策定していきたい。

### ●平成25年度一般会計歳入歳出決算認定 ～農林振興対策費～

**Q** 有害鳥獣について、イノシシの被害に対してどのような対策を講じているか。

**A** 25年度、国の交付金200万円を投じて箱わなを17基購入し、合計21基保有している。イノシシの個体数を減らすことが重要であり、25年度は35頭、26年度は8月末までに69頭を捕獲した。捕獲した後は、猟友会に殺処分を依頼している。有害鳥獣については、銃で撃つ方法もあるが、事故防止のため、イノシシについてはまず箱わなで対応したい。



有害鳥獣捕獲用の箱わな